

敦賀明子（オルガン）プロフィール

兵庫県尼崎市で育ち、3歳の頃からオルガンを始め、クリスチャンの母親の影響で教会音楽に親しむ。

大阪音楽大学卒業後、関西一円で活動し、2001年、活動の拠点をニューヨークへ。

ピアノをローランド・ハナ、オルガンをドクター・ロニー・スミスに師事する。たまたま飛び入りしたハーレムの老舗ジャズクラブ「Showmans」にレギュラー出演する事になったのをきっかけにNYでの演奏活動を始める。それからの活躍はめざましく、現在アメリカで最も注目を浴びるオルガンプレイヤーである。

主な共演者：ルー・ドナルドソン（アルトサクソ）グラディ・テイト（ボーカル、ドラム）井上智、ラッセル・マローン、ジョージ・ベンソン、エリック・ジョンソン（ギター）エイブラハム・バートン（テナーサクソ）など。

現在の活動：自己のトリオのほか、ルー・ドナルドソン・カルテット、グラディ・テイト・ボーカルグループなど。ほかにもボーカルやホーンプレイヤーのサイドメンとして活動中。特にルー・ドナルドソン・カルテットで全米各地のツアー他、JVC ジャズフェスティバルでカーネギーホールに出演した。

主な出演ジャズクラブ：Dizzy's Club Coca Cola、Blue Note、Birdland、Minton's Play House など。

2004年5月に発売されたデビューアルバム「ハーレム・ドリームズ」(M&Iレーベル)に続き、2006年11月に「スウィート・アンド・ファンキー」(M&Iレーベル。アメリカでは18th & Vine)を発売した。このアルバムは2007年3月にアメリカ、カナダでも発売され、ラジオチャート全米13位。デトロイト、シカゴ方面で1位。新人アーティストとしては異例のヒットアルバムとなった。

また「 Hammond Organ Complete」の翻訳も手がける。Hammond Suzukiのエンドーサー。

2007年6月公開の映画「ラスト・ラブ」(田村正和主演)にピアニスト役で出演している。

現在、愛車にポータブルオルガンを積み込み、演奏の依頼があればどこまでも・・・という生活を送っている。

CD:

Harlem Dreams (M&Iレーベル 2003)

Sweet and Funky (M&Iレーベル、2006)

St. Louis Blues (Mojo west, 2007)

<http://www.akikotsuruga.com>

<http://www.myspace.com/akikotsuruga>

Eric Johnson (エリック・ジョンソン) (Guitar)プロフィール

ペンシルバニア州、ピッツバーグ出身。16歳でギターを始め、同郷のジョージ・ベンソンの後押しもあって、高校卒業と同時にルガニスト、Jack McDuff (ジャック・マクダフ) バンドの一員としてプロデビュー。その後、オルガンプレイヤーの Richa “Groove” Holmes (リチャード “グルーブ” ホルムス), Jimmy McGriff (ジミー・マクグリフ), Dr. Lonnie Smith (ドクターロニー・スミス), Big John Patton (ビック・ジョン・パットン) サックスの、Lou Donaldson (ルー・ドナルドソン), Hank Crawford (ハンク・クリフォード) ピアニスト、Ramsey Lewis (ラムゼイ・ルイス) などと共演。ウエス・モンゴメリーやグラント・グリーンに強い影響を受けたスタイルで根強いファンを持つ。現在、NY,NJ を中心に幅広く活動。

グラント・グリーン、ジョージ・ベンソンも好んで弾いたという L5 をワイヤレスで鳴らし、会場の中を歩きながら弾くスタイルどこでも大受け。

CD :

Bumpin' In LA(Clarion Jazz Lable, 1993)

Makin' Whoopie(Blue Jay Lable,2003)

<http://fabalousej.com/>

http://www.amazon.com/Blues-By-Six/dp/B00005L0D5/sr=1-1/qid=1159731497/ref=pd_bbs_1/002-8320598-3584830?ie=UTF8&s=digital-music

Vince Ector (ビンス・エクター) (Drums)

ペンシルバニア州、フィラデルフィア出身。9歳でドラムを始め、Mickey Roker(ミッキー・ロッカー)、Ralph Pererson (ラルフ・ピーターソン)に師事。プロ入り後は、Freddie Hubbard (フレディ・ハバード) ボーカルの Gloria Lynne (グロリア・リン) オルガンの Charles Earland (チャールス・アーランド)、Bobby Watson (ボビー・ワトソン) らと共演する。また演奏活動のほか音楽教育にも携わり、学校のアフタースクールプログラム、また彼が主催する音楽教室で後進の指導にあたりている。昨今珍しいサウスポードラマー。力強いドラミングで特にオルガンプレイヤーから引っ張りだこ。

CD

Rhythm Master(Blues Leaf Records, 2003)

Renewal of The Spirit(Mambo Maniacs Records,2005)

<http://vincentector.com/>